

2月定例

雪洞掘り山行報告

山域 那須連峰赤面山スキー場跡地

日程 2018/2/10 (Sat) ~ 11 (Sun)

天気 晴れ

メンバー SL 狩野、時田、石崎、上荒磯 (記録)

コース&タイム

2/10 (Sat)

千葉駅 630 → 東関道 → 東北道 → 白河 IC1000 → 赤面山スキー場跡地 1100

11 (Sun)

赤面山スキー場跡地 1100 → 白河 IC → 千葉駅 1500

1月定例山行上高地キャンプに続いて、2月定例は雪洞掘り。初めての経験で、雪に穴を掘って寝るなんてどんなものか想像もできなかったがインスタ映え抜群、穴掘りは探検をしているようでとても楽しかった。

●1日目●

もううす明るくなってきたころ千葉駅に集まる。かめはめ波の牛久大仏や面白かたちの筑波山、わざと畑に放たれた牛を見ながら白河 IC を出る。

赤面山スキー場跡地までにガソリンスタンドやコンビニはいくつかある。だんだん山道に入っていくと辺りはまっしろにな理、動物の足跡がたくさん。

現地にはもう5、6台の車が止まっていた。先に雪洞を掘られていないか心配になるが、バックカントリーや山スキーに来ているようだ。私たちも並んで道の脇に車を止めて、スノーシューを履きソリに荷物を詰める。歩くのはほんの200m くらいで、あっという間だ。今日は風がなく日が当たるので暑い。半袖でもいいくらい。



スキー場の跡地ということで建物やリフトがそのまま廃墟になっている。リフト横の倉庫？沿いに深く積もったところに雪洞をつくる。ここからはひたすらスコップを手に掘っていく。これが楽しくてしょうがない。つい夢中になってしまう。人1人が中に入って掘れるくらいまでになると楽だが、それまではちょっと大変。中でずっと作業していると思いのほか雪でビショビショになる。



掘る！



掘る！！



掘る！！！！





ん?





天井のでこぼこをきれいに



完成！

雪洞の掘り始めと同じころ、夜ごはんの準備も少しずつ始める。リクエストしたポテトサラダができたときにはもう狩野さんはビールを4本空けていた。

おやつの時間になる前には雪洞はできあがり、十分な広さと整った天井に満足。水餃子入りのキムチ鍋もそろそろいいところで早々とテーブルを囲み始める。お待ちかねは2ポンド近くのステーキと骨つきウインナー。超ワイルド！

\KARI'S キッチン/



そろそろ日も落ちてきたので雪洞に入ることにする。と、その前にそり遊び。ペンギンちゃんがよく滑る！ザックや道具はリフト横の更衣室(倉庫)に置き寝

袋を持って雪洞に。

酸素確認用のキャンドルを灯すとなんだかロマンチックな雰囲気。雪洞の中は暖かくとても快適だ。たくさんの肉でおなかいっぱいだったけど、時田さんのホットワインはやっぱりおいしかった。奥で先に寝てしまった狩野さんをゴロゴロと転がしてドアを作り、おかげで気持ちよく眠れることができた。



●2日目●

動き出したのは 6時半ころだっただろうか。風はかなりあったが、空は晴れていて朝日が雪洞を照らし始める。朝ごはんのおしるこができるまでの間、石崎さんとソリを持ってゲレンデをお散歩しに行く。昨日の山スキーの滑り跡が残っていた。少し登っただけだが、遠くまで景色がきれいだった。





朝ごはんを食べ終わるころにはさっきまでの風がうそのように止んでいた。まったりゆっくりしてそろそろ片付け。来たときと同じようにソリに荷物を詰め込む。石崎さんは何度も往復してくださいました。ありがとうございます。お天気はこのあと下り模様なのに、車に着くとスノーシューハイカー数組と入れ違った。お風呂のチャポランドであったまり、渋滞はなく早々に帰ることができた。

